

# 湖畔の風

## ★第34回 田瀬湖湖水まつり 開催

「田瀬湖湖水まつり」が田瀬において7月29日（土）と30日に開催されました。29日は花火大会が開催され、約3,000発の花火が、夏の夜空に打ち上げられました。

田瀬振興センターグラウンドを解放しましたので、100台ぐらいの駐車と、地元の方々中心に約200人が花火を観賞しました。

ダム側の木の伐採、刈払いを行いましたので、以前より、花火が見えやすいといわれました。水中花火も見えるようになりました。

木の伐採、刈払いについてはまだ、残っている所もあるので今後も進めていきます。

振興センターグラウンドに  
約100台の車



## ★第32回田瀬地区世代間交流グラウンドゴルフ大会

☆令和5年度成績☆ 2ホール合計

### 男性の部

優勝 阿部 惣七 39点  
準優勝 菅原 講作 42点  
第3位 菅原 政二 45点  
第4位 小田島功一 45点

### 女性の部

優勝 門岡 京子 59点  
準優勝 板倉 朝子 59点  
第3位 菅谷 公子 67点  
第4位 塚沢 舞 69点



阿部惣七さん 優勝です

※ 得点と同じ場合、年齢が上の方を優位としました。

### ホールインワン賞

◎菅原 亀三  
◎塚沢 舞  
◎阿部 惣七



8月6日（日）町井親水公園において、第32回田瀬地区世代間交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。田瀬地域コミュニティ会議のグラウンドゴルフ大会を町井の親水公園で開催するのは初めてです。

参加者30名、炎天下の中、広々としたグリーンでの熱戦が繰り広げられました。



## ★ 貞任隠れ岩の看板設置



今年度の教育振興部の事業として、5月に「安倍貞任隠れ岩」付近の環境整備を行いました。

以前から、どの岩が「隠れ岩」か、わからないとの声がありましたので、「隠れ岩」と思われるところに看板を設置いたしました。

隠れ岩を見たことのある方も、ない方もご覧になることをお勧めいたします。

新しい田瀬のフォトスポットです。



## ★ 白土川 生き物調査

参加者：小学生3名・幼児1名・保護者4名・他5名  
田瀬ダム管理支所2名・講師1名 計16名

白土川は菅原会長が小さいころから遊んでいる川で、とても貴重なカジカがすんでいる川です。カジカは水のきれいな所にすむといわれています。今回は、川にすむ生物（昆虫・魚・カニなど水中生物）の種類から、水のきれいさを調べました。

講師の岩手県環境アドバイザー 佐井守さんのお話を聞き、川の石についている虫や、サワガニ、カジカなどを捕まえました。それらは指標生物といい、すんでいる所の水質の階級（水のきれいさ）がわかります。

最後に、種類ごとにまとめて、数をかぞえました。その結果、白土川の水はきれいな水と判断されました。

子どもたちのほとんどが、この川で川遊びも魚釣りも経験したことがなかったそうです。この機会に自然に親しむ機会を増やし、恵まれた地元の自然を大切にしてほしいと思います。



## ★ 令和5年度 視察研修

岩手県立博物館において、テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」が開催され、我が田瀬ダムもその中に展示されていました。（8月20日まで）今一度、田瀬ダムの役割や仕組み、歴史などについて知り、今後役に立てることを目的に今回の視察研修を実施いたしました。

参加者30名の方は、「今までの研修とは違って田瀬ダムの役割や地域の自然を学び、満足できる研修でした」と感想を述べていました。



岩手県内の地質調査をした際に東和町田瀬五輪峠北西から算出された単斜輝石角閃岩（コートランド岩）が展示されている

## 異聞 田瀬の歴史 第20回

### 《その後の貞任》

安倍貞任については、第2回(令和4年2月)「康平5年田瀬の砥森山」、第5回(令和4年5月)「風雲急を告げる田瀬」において、朝廷軍の源義家に追われて田瀬を

脱出したところまで書きました。

今回、当コミュニティ会議が「貞任隠れ岩」周辺的环境整備し、誰でも行けるようにしたことから、その後の貞任をおってみたいと思います。「貞任隠れ岩」は田瀬大橋から砥森神社へ向かって500mほどの山手にありますが、こんな分かりやすいところに隠れ岩は不自然だと思う人もいるでしょうが、今から1000年も前、猿ヶ石川は遙か下方で、今の市道・向田瀬線は山道さえない未開の地でした。

当時、衣川に本拠地を置いていた安倍一族は、次第に朝廷軍に押されて北上、貞任はついに康平5年(1062)ひそかに砥森山麓に隠れていました。

隠れ岩の前に設置されている貞任の説明版の記載を紹介すれば次のように書かれています。

安倍貞任(1019~62)は、古代末期の東北を代表する武将の一人である。

父頼時のあとを受けて前九年の役の抵抗を指導し現地の人からは「高天の如く」仰がれた。

古代末期の東北辺境に独立を勝ち取っていこうとする戦いは安倍氏のもと彼において一つの頂点を迎え、清原氏、藤原氏に継承され結実をするのである。(部分)

貞任は家臣団に支えられ、また9人兄弟がいて各地に城をもって戦っていました。4番目の弟・家任は野金山の城、3番目の弟・正任は黒沢尻の城を守っていましたが、いずれも朝廷軍に攻められ最後の城・貞任の厨川城に集結していました。貞任には娘と息子がいました。娘は真砂姫といい、息子は千代童丸といいました。衣川から貞任と共に逃げてきましたが、父・貞任の足手まといにならぬようにと、最後に家臣に敵の大將・源義家宛てに「弟・千代童丸の助命嘆願」の書を託しました。更に乗ってきた愛馬「大鹿毛」の鞍を外して、今までの労を感謝して解き放したところ、山に駆け上がり真砂姫の方を向いて二度いななき倒れたということです。土地の人はこの山を「大鹿山」と呼んでいます。その後、真砂姫は大沢滝に身を投じました。愛馬「大鹿毛」は死を賭して、真砂姫に貞任が田瀬に居ることを知らせようといわないたのかも知れません。いつの時代からか、田瀬の横峰から倉沢へ大鹿林道ができています。

さて、貞任はというと野金山の家任の助けを得て、隠れ岩より猿ヶ石川をくだり、宮守の笹岡を経て達増部へ逃げました。ここで源義家に追いつかれた貞任は強弓の使い手で有名な義家の弓矢を傍にあった岩を背負って防いだということです。

筆者は、達増部出身の遠野市議会議員・佐々木敦緒さんの案内で、その岩を確認してきました。(遠野市達増部中野)高さ3mほどの平らな岩に数ヶ所、矢が当たってへこんだと思われる痕が見てとれました。この岩から4キロほど先に合戦場と言われるところがあるそうです。

遠野市達増部中野 貞任が背負って義家の矢を防いだ。義家の矢の痕、丸い形が数か所みられる



## ○第2回資源ごみ搬入量について

8月8日(火)に搬入された資源ごみの量は次の通りでした。

- 紙類 2430 kg ●金属類(スチール缶など)60 kg ●アルミ類 260 kg
- ビン類 73本

(※第1回目 紙類 1840 kg、金属 20 kg、アルミ 260 kg、ビン 43本)

皆様のご協力に感謝申し上げます。

第3回は12月5日(火)を予定しておりますので、それぞれの指定の場所にお持ちくださいますようお願いいたします。



※一升ビン、ビールビンを出すときのお願いです。ふたは、分別してゴミに出し、中身を捨てて、洗ってから出してください。



田瀬地域資源回収推進協議会  
(問合せ：田瀬振興センター 電話 44-5281)



### ※熱中症対策をお願いします

例年なら8月の盆を過ぎると涼しくなってくるのですが、今年は異常な暑さが続いています。

先ごろ、発表された長期天気予報によると、10月までは平均気温が、平年より高くなると予想されています。

やむを得ず、農作業や草刈り作業など外で作業する場合は熱中症の対策を十分にとり、休みも多めに取しましょう。また、室内、夜寝ているときでも熱中症になる場合があるそうです。我慢せずエアコンや扇風機を使って温度の調整・換気をしてください。のどが乾かなくてもこまめな水分、塩分の補給をお願いいたします。



### 9月の行事予定

- 各地区敬老会
- みのりまつり実行委員会

### 10月の行事予定

- 田瀬のみのりまつり
- 田瀬湖さわやかウォーキング



今年の中秋の名月は  
9月29日(金)

諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

### 田瀬地区の人口

(令和5年7月末現在)

| 行政区  | 世帯数 | 人数  |     |     | 比較<br>(6月末) |
|------|-----|-----|-----|-----|-------------|
|      |     | 男   | 女   | 計   |             |
| 田瀬第1 | 68  | 81  | 90  | 171 | —           |
| 田瀬第2 | 29  | 33  | 34  | 67  | —           |
| 田瀬第3 | 73  | 73  | 87  | 160 | —           |
| 計    | 170 | 187 | 211 | 398 | —           |

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで